

塩釜の思いを県政へ しっかり届ける

暮らしを守ることは、地域活性化の確かな道筋です。



県議

天下みゆき

略歴 1956年、山形県酒田市生まれ。東北大学教育学部卒。坂総合病院事務長、宮城民医連事務局長を歴任。2011年、県議に初当選、3期目。県議会総務企画委員、少子化対策調査特別委員など。党県議団幹事長。



小・中学校
学校給食無料に
県で1/2補助。予算の0.5%で、
できる。

日本一高い
水道料金値下げ
再公営化を

漁業、農業の振興
3分の1に減らされた県の農林
水産業予算を増額。

障害者医療費助成
窓口で無料に

市立病院の充実
病床削減にストップ

輸入原料、
価格高騰への支援

コロナ対応資金など
による過剰債務支援

県独自の被災者
住宅再建支援の継続

災害公営住宅の
家賃軽減の延長

東北一の財政力
1兆円をくらしにいかす
宮城県的一般会計予算をくらしのために。

税金の使い方を見直す
仙台市のJR貨物移転と広域防災拠点に400億円
以上？ JR貨物にも費用負担を求める。

国にもはっきりモノいいます

- マイナ保険証やめよ
- インボイス制度は
中止・延期を
中止を求める意見書案に自民などが
反対。
- 海洋放出回避の対策を
海洋放出は中止。「大型タンク貯留案」
や「モルタル固化処分案」などの検討と
対策を。
- 女川原発再稼働ノー
再稼働推進の県議ばかりでは困ります。
- 中小企業予算10倍に
1000億円台から1兆円規模に。
- 沿岸漁業の振興で
水産物の安定供給を
天下みゆき提案の、水産業の危機打
開のための意見書が可決。

防衛費倍増ストップ！ 大軍拡より平和の準備を

日本共産党

2023年9月号外
発行：新みやぎ社 仙台市青葉区一番町1丁目12-25 ☎022(267)1511
天下みゆき県議の活動や見解を紹介します。





利府中インター線整備で吉津住民と土木事務所との懇談(2020年8月)



浦戸諸島の要望書を県に提出(2022年8月)



宮町の台風被害調査(2019年10月)



トンガ沖津波で被害を受けたワカメ業者から聞き取り(2022年1月)



破損した北浜防潮堤の調査(2020年11月)

住民に寄り添い、働く県議を 天下みゆき 党派こえて今度も

県立高校にエアコン設置、タブレット無料、福祉灯油… 声を力に政治を動かす

エアコン設置は天下みゆきが2017年から要求。世論の力で塩釜高などに設置へ。1台約7万円のタブレット購入の無料化も、陳情するなどの先生や生徒をはじめとした運動の成果です。



困っている人をほっとかたい
日本共産党

コロナ対策を16回、県に要望し実現 行動、提案、実行する

PCRなど無料検査の拡充、高齢者施設・保育所などでの定期検査など実施されました。

中小企業への県独自の支援、酒類製造・販売業者に支援金も。

3・16福島県沖地震後、天下みゆきが求めてきた中小企業グループ補助金、中規模半壊以上の世帯に生活再建支援制度が適用されました。

くらし・生業
への支援

- 医療機関・保険薬局・社会福祉施設・保育所の光熱費を助成。
- 燃油価格高騰対策への助成。
- 「みやぎシゴトサポーター・サテライトオフィス」を商工会議所に設置。

4病院再編ストップ! 宿泊税撤回… 県政の暴走をただす

コロナ禍のなか栗原と登米保健所を「支所」にしたうえ、当事者の声さえ聞かずに4病院を再編しようとしている県政。「医療を守れ」と主張しています。

県政が進める水道民営化をやめて安心・安全の水を守れと主張しているのが天下みゆき県議です。

「宿泊税」導入を、観光事業者のみなさんとともに撤回させました。



「みゆき通信」を発行
住民と県政むすぶ